

都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター

東京都内・主要繁華街 滞留人口モニタリング (11月28日までのデータ分析：要点)

【レジャー目的の繁華街滞留人口の状況】

- 夜間滞留人口：夜間滞留人口（18～24時）は、直近1週間では小幅な増加（前週比：1.0%増）。ただし、ハイリスクな深夜帯（22-24時）滞留人口の増加が顕著であり（前週比：10.1%増）、特に渋谷・六本木など若者の多い繁華街で増加が目立っている。
- 昼間滞留人口：前週からほぼ横ばいで推移（前週比：0.7%増）。ランチ時間帯の滞留人口は減少。
- 夜間滞留人口・世代別占有率：引き続き、すべての時間帯で中高年層の占める割合が高いものの、若年層の占める割合が増加しはじめている。一方、高齢者の割合がわずかながら減少。
- ワクチン未完了者の夜間滞留人口：若年者のワクチン接種率は上昇しているものの、夜間滞留人口の増加により微増。

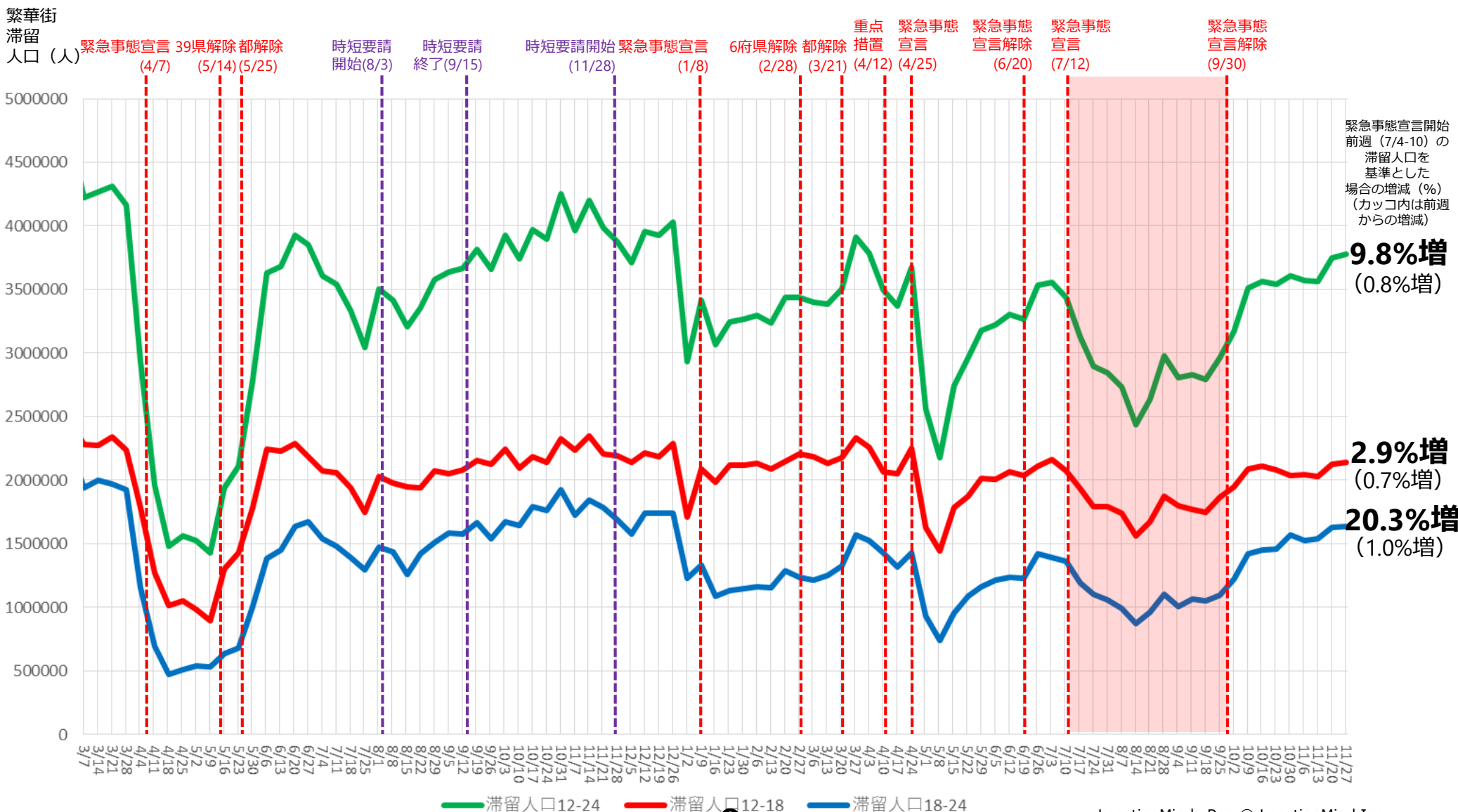
【ステイホーム指標】

- 居住地から5キロ圏内、3キロ圏内のステイホーム率は、53.4%（前週比：2.0%増）、44.5%（前週比：2.0%増）。週の半ばで祝日があったため遠出はせず自宅周辺で過ごす人々が増えた様子。

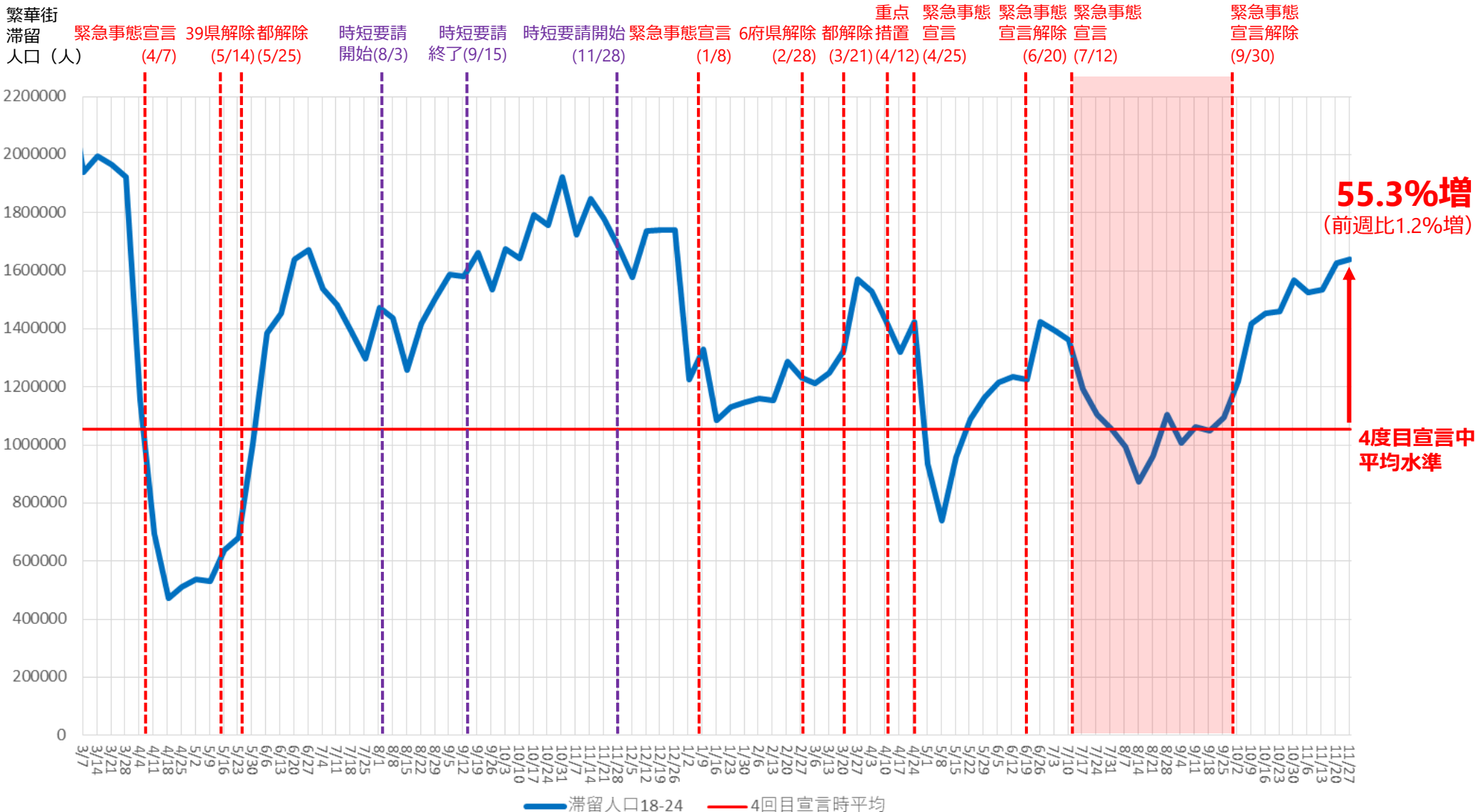
【大型ショッピングモール・フードコートの滞留人口】

- 23区西部・北多摩・西多摩・南多摩エリアで増加。都心部・23区東部エリアは減少。

時間帯別主要繁華街滞留人口の推移（2020年3月1日～2021年11月27日）

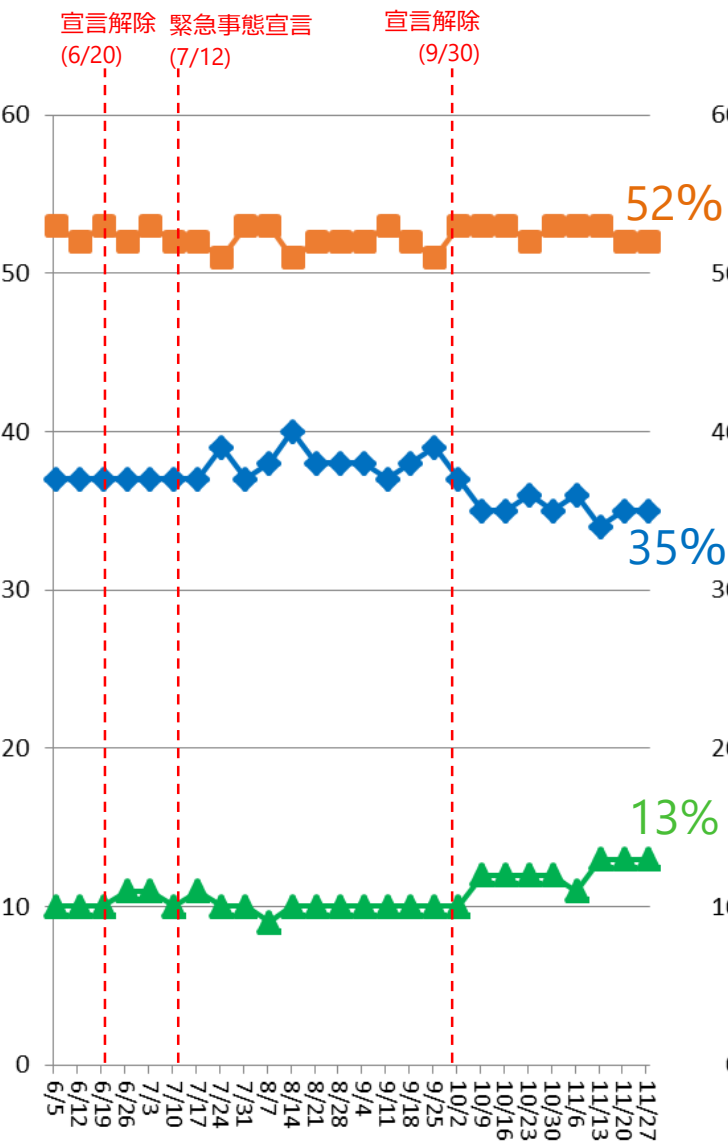


前回宣言期間中の夜間滞留人口（18-24時）平均水準との比較 （2020年3月1日～2021年11月27日）

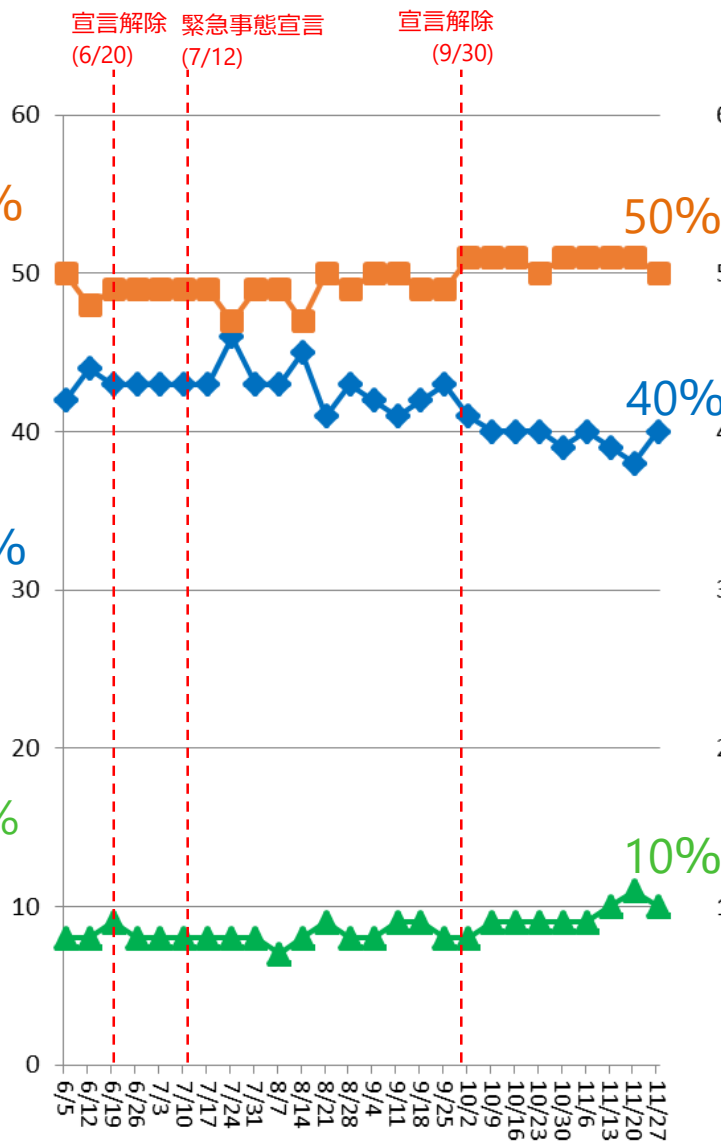


都内主要繁華街における夜間滞留人口の年代別占有率（2021年6月1日～11月27日）

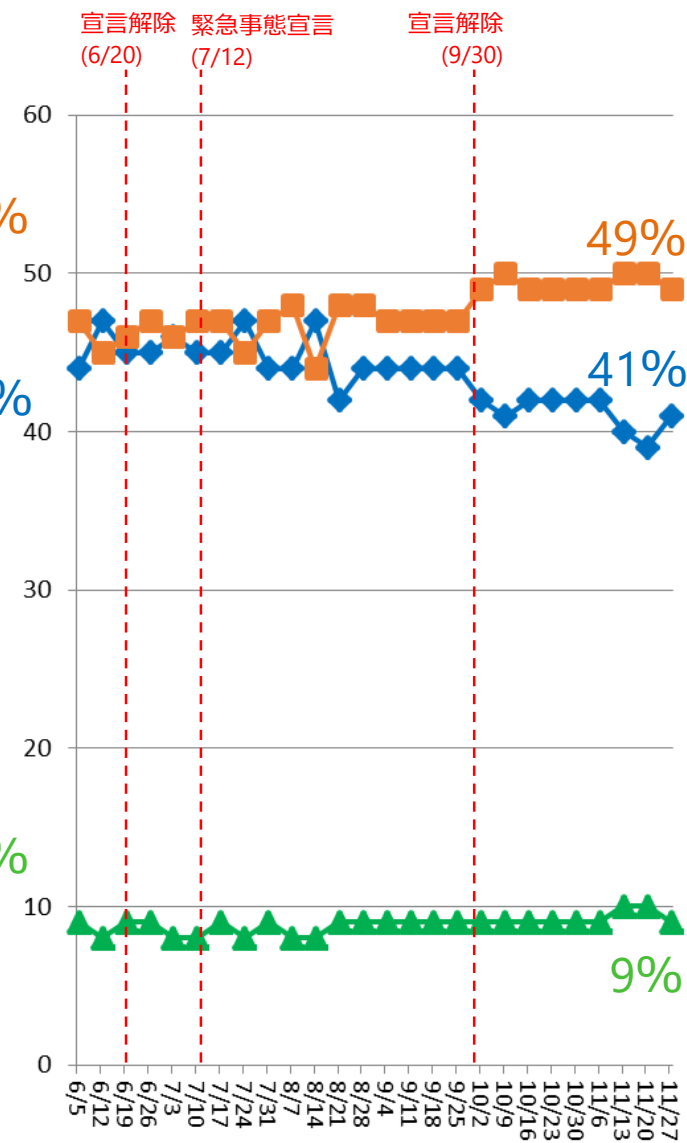
18時～20時



20～22時



22～24時

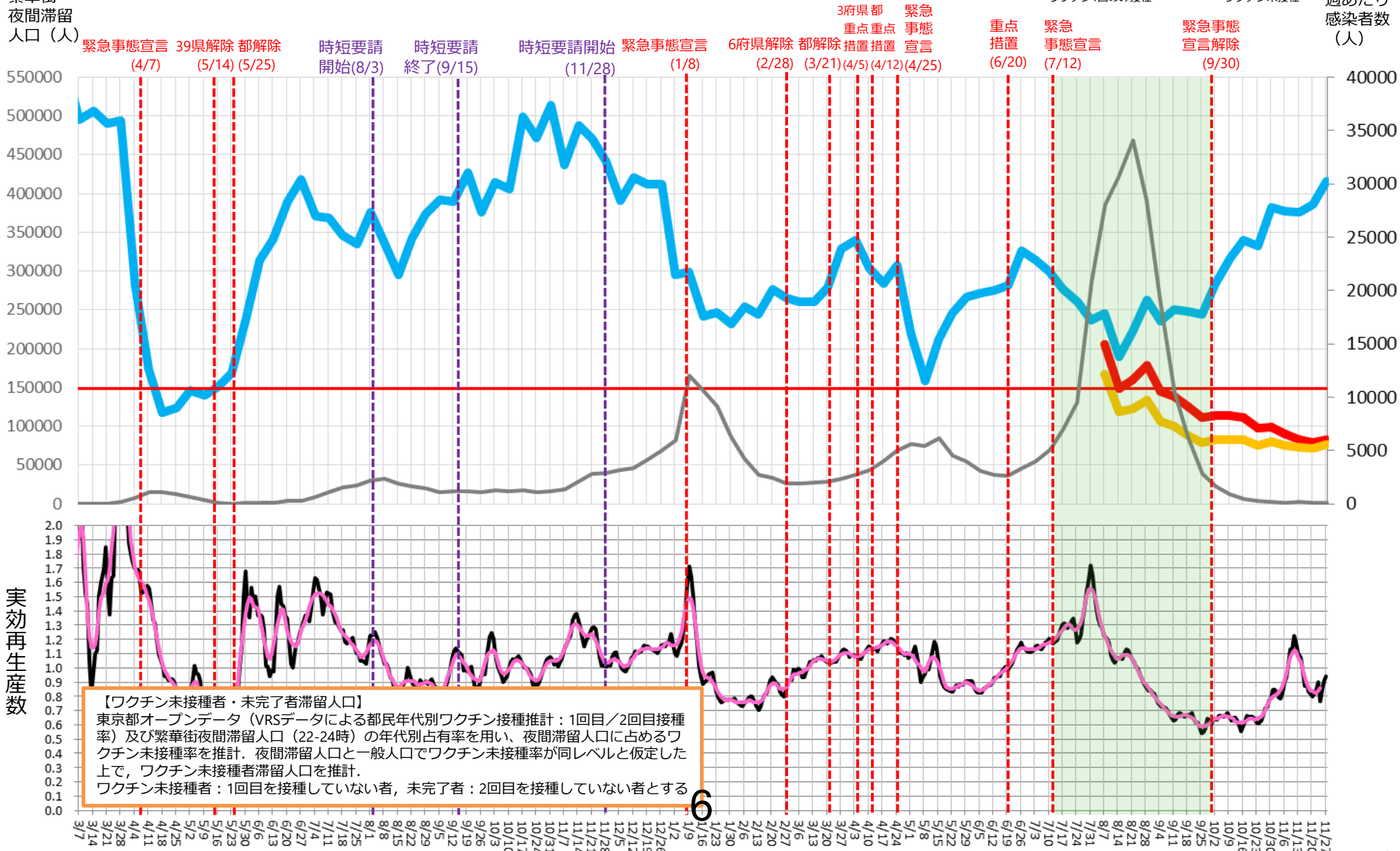


主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京 (2020年3月1日~2021年11月27日)

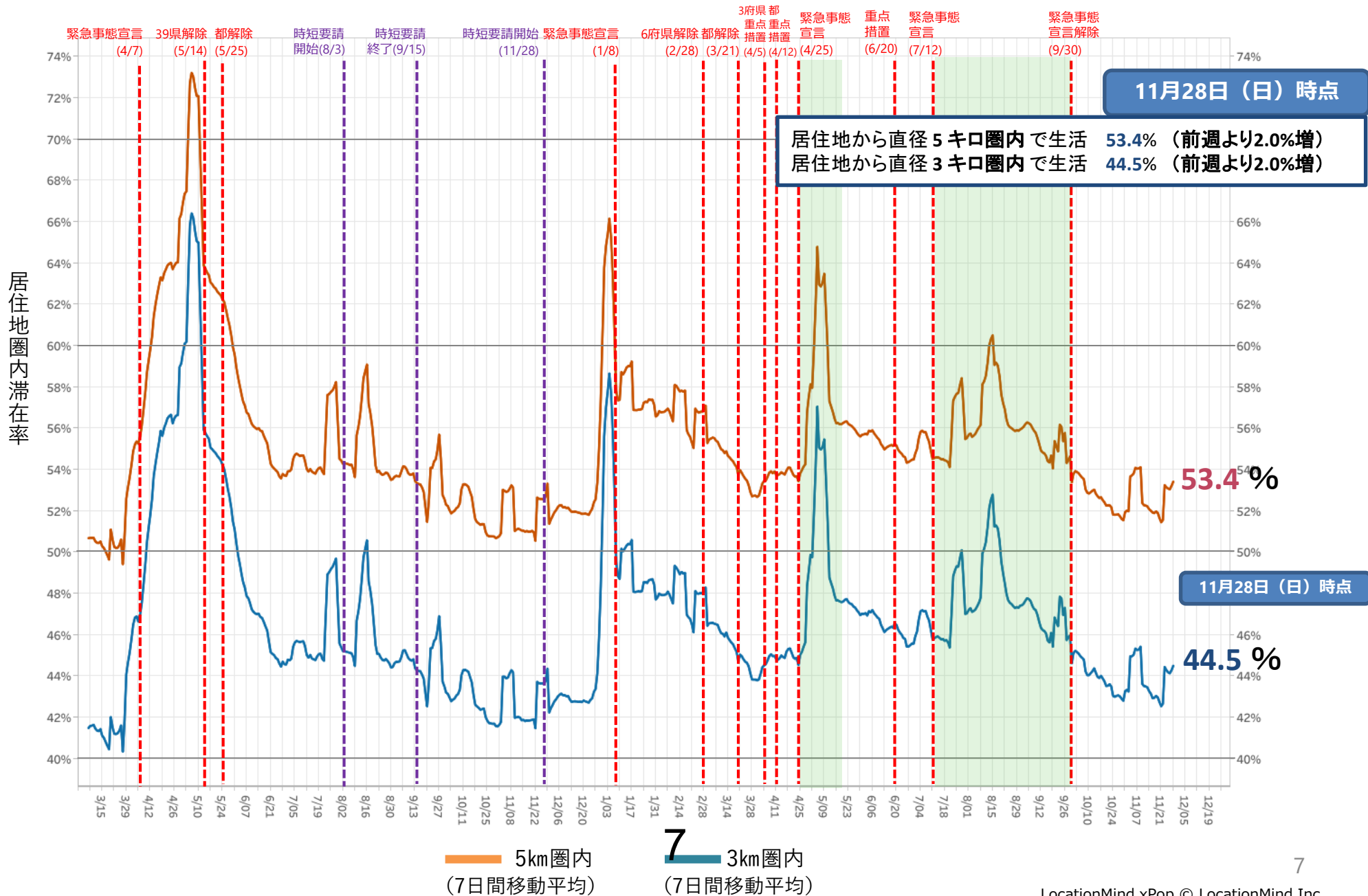
緊急事態
7/12-9/30

対象繁華街: 上野・銀座・六本木・渋谷
新宿二丁目・歌舞伎町・池袋

滞留人口22-24時 (青線) 滞留人口20-22時 (紫線) 新規感染者数 (報告日) (黒線) 滞留人口22-24時 ワクチン1回のみ接種 (赤線) 滞留人口22-24時 ワクチン未接種 (黄線)



ステイホーム指標（2020年3月1日～2021年11月28日）：東京都内全域



都内大型ショッピングセンター内のフードコート滞留人口推移

地域別：2020.1.12-2021.11.28：10-19時（モニタリング対象28施設）



ハイリスクな時間帯の繁華街滞留人口を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**主要繁華街に遊興目的で**

移動・滞留したデータを抽出 ※

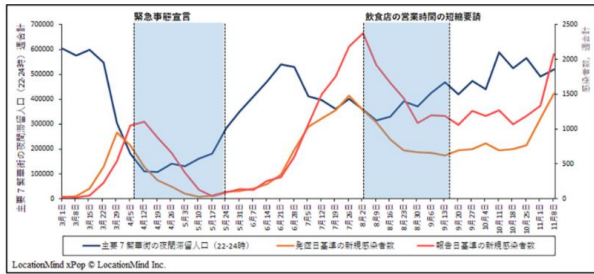
- ハイリスクな時間帯の滞留人口量を**

1時間単位で推定(500mメッシュ単位)

- LocationMind ⇒ 都医学研**

- 夜間滞留人口データとその後の**

新規感染者数、実効再生産数との関連が報告されている ※※



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。

※※ Nakanishi M, Shibasaki R, Yamasaki S, Miyazawa S, Usami S, Nishiura H, Nishida A. On-site Dining in Tokyo During the COVID-19 Pandemic: Time Series Analysis Using Mobile Phone Location Data. *JMIR mHealth and uHealth*, 2021